

大阪経済の情勢

(2022年9月指標を中心に)

2022年11月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、緩やかに持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;8月)は増加。投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は増加。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(8月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(8月)は上昇。全国の生産(9月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間(8月)は上昇。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価上昇等による経済への影響について、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
		大型小売店販売(大阪)	コンビニ販売(近畿)	家電販売(大阪)	新車販売(大阪)	新設住宅着工(大阪)	建築物着工(大阪)	輸出(近畿)	関空外国人旅客
9月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
8月	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

		供給				
		生産		倒産	雇用	
		生産指数(大阪)	生産指数(全国)	倒産件数*(大阪)	有効求人倍率(大阪)	失業率*(近畿)
9月		▲	▲	▲	▲	▲
8月	▲	▲	▲	▲	▲	▲

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

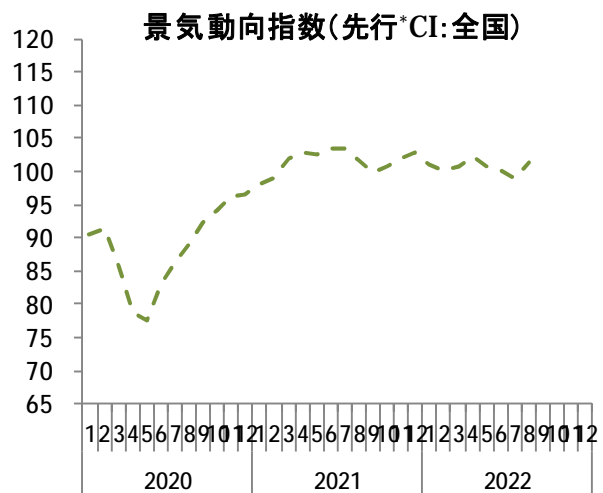
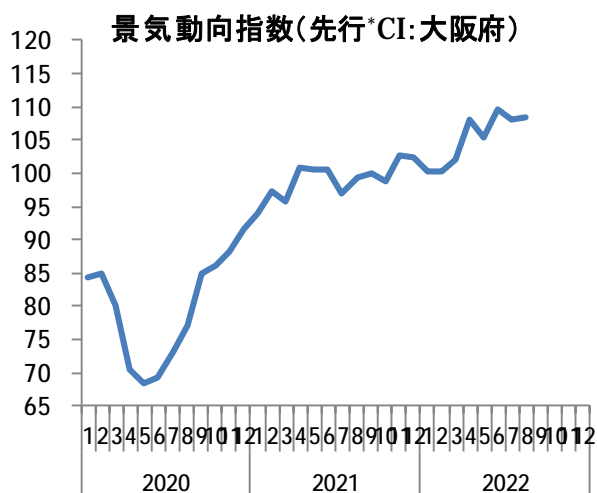
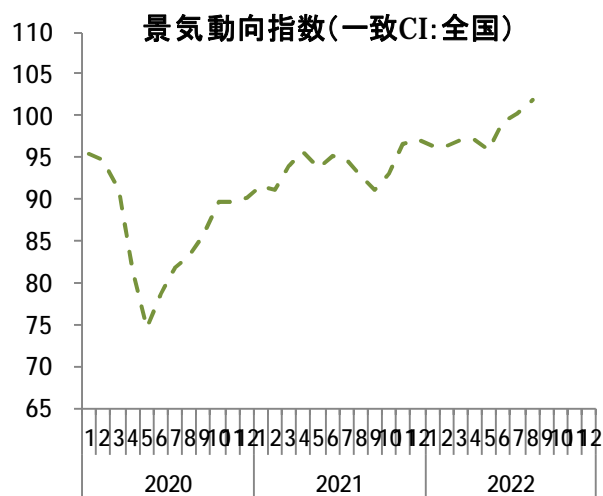
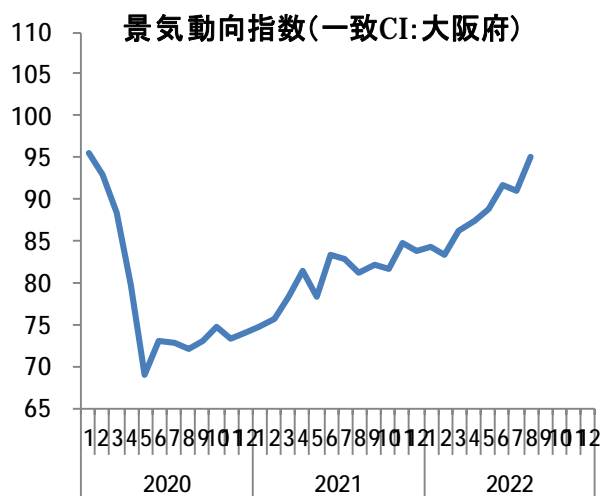
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2022年9月公表分) (2022年7月指標中心)	先月(2022年10月公表分) (2022年8月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、持ち直しの動きがみられる。	大阪経済は、持ち直しの動きがみられる。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、緩やかに持ち直している。	景気は、緩やかに持ち直している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している。	近畿地域の経済は、一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済概況」	関西の景気は、供給制約や感染症の影響がみられるものの、全体として持ち直している。	関西の景気は、感染症の影響が和らぐもとで、全体として持ち直している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(8月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「人件費比率(製造業)」「製造工業生産指数」が上昇に寄与。全国(8月)の一致CI、先行CIはともに上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	22年7月	8月	9月
先行CI	108.1	P 108.3	
一致CI	90.9	P 95.0	

	全国		
	22年7月	8月	9月
先行CI	98.9	101.3	
一致CI	100.1	101.8	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、8月速報)

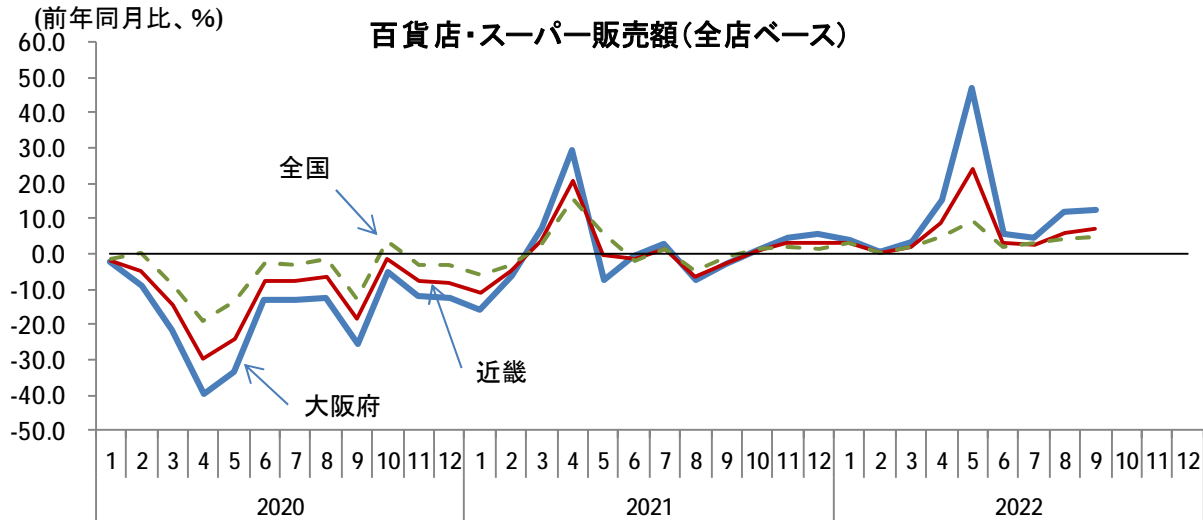
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
1.83	▲0.23	1.00	0.45	1.05	0.48	▲0.49

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、緩やかに持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;8月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【12ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		22年7月	8月	9月
販売額(億円)	大阪府	1,513	1,350	P 1,343
前年比(%)	大阪府	4.7	12.1	P 12.5
	近畿	2.8	6.2	P 7.1
	全国	3.3	4.3	P 4.8

百貨店販売額(全店)

		22年7月	8月	9月
前年比(%)	大阪府	9.5	35.0	P 30.5
	全国	8.9	24.7	P 19.1

スーパー販売額(全店)

		22年7月	8月	9月
前年比(%)	大阪府	▲0.0	▲2.1	P ▲0.5
	全国	1.3	▲0.5	P 0.5

○コンビニエンスストア販売額(全店)【10ヶ月連続の増加。】

		22年7月	8月	9月
販売額(億円)	大阪府	753	739	P 720
前年比(%)	大阪府	5.5	6.8	P 4.2
	近畿	4.0	5.8	P 2.7
	全国	3.4	5.2	P 2.3

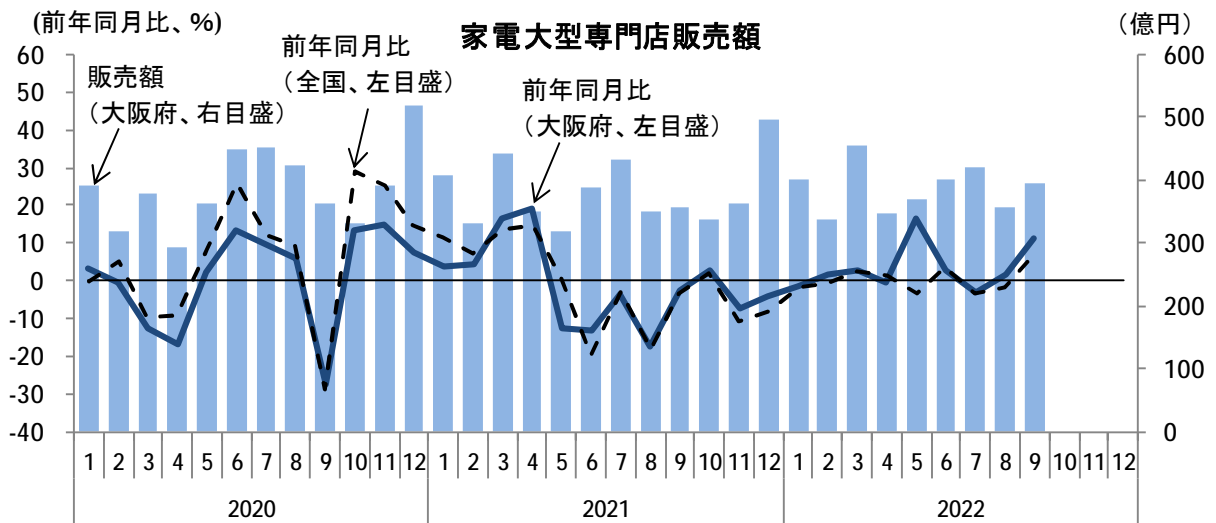
○家計消費支出【近畿(8月)は8ヶ月連続の増加。】

		22年7月	8月	9月
円	近畿	295,304	271,795	
前年比(%)	近畿	9.1	2.7	
	全国	6.6	8.8	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		22年7月	8月	9月
前年比 (%)	大阪府	▲2.9	1.6	P 11.2
	全国	▲3.3	▲1.7	P 7.1

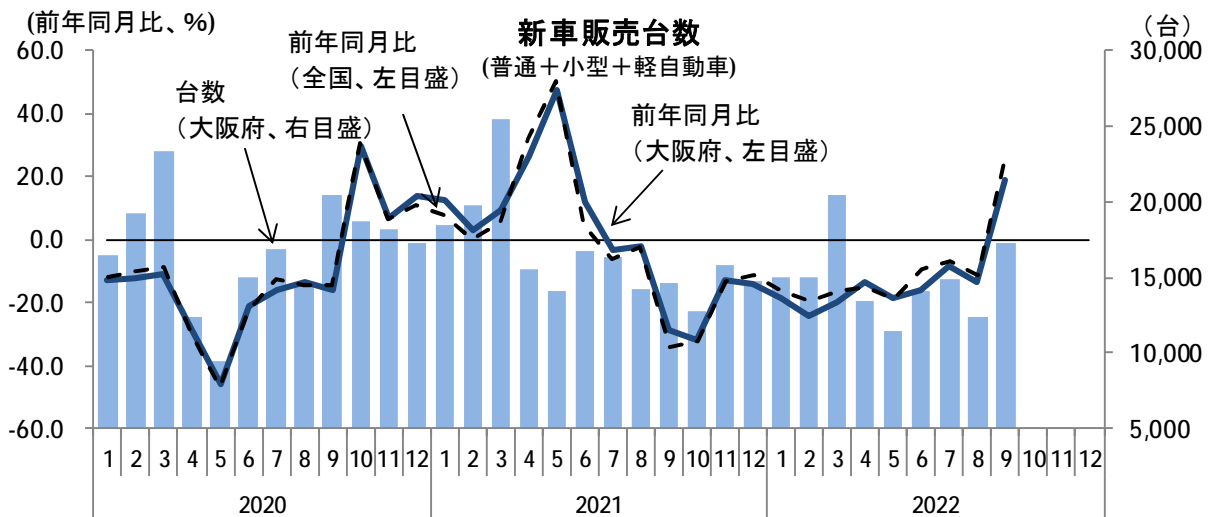
ドラッグストア販売額(全店)

		22年7月	8月	9月
前年比 (%)	大阪府	6.6	7.1	P 8.1
	全国	6.8	5.3	P 5.6

ホームセンター販売額(全店)

		22年7月	8月	9月
前年比 (%)	大阪府	▲2.8	▲2.5	P ▲5.9
	全国	▲2.2	▲1.1	P ▲3.1

○新車販売台数【前年同月比で15ヶ月ぶりの増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		22年7月	8月	9月
販売額(台)	大阪府	14,935	12,307	17,279
前年比 (%)	大阪府	▲8.8	▲13.5	18.8
	全国	▲6.9	▲11.2	26.4

車種別の増減

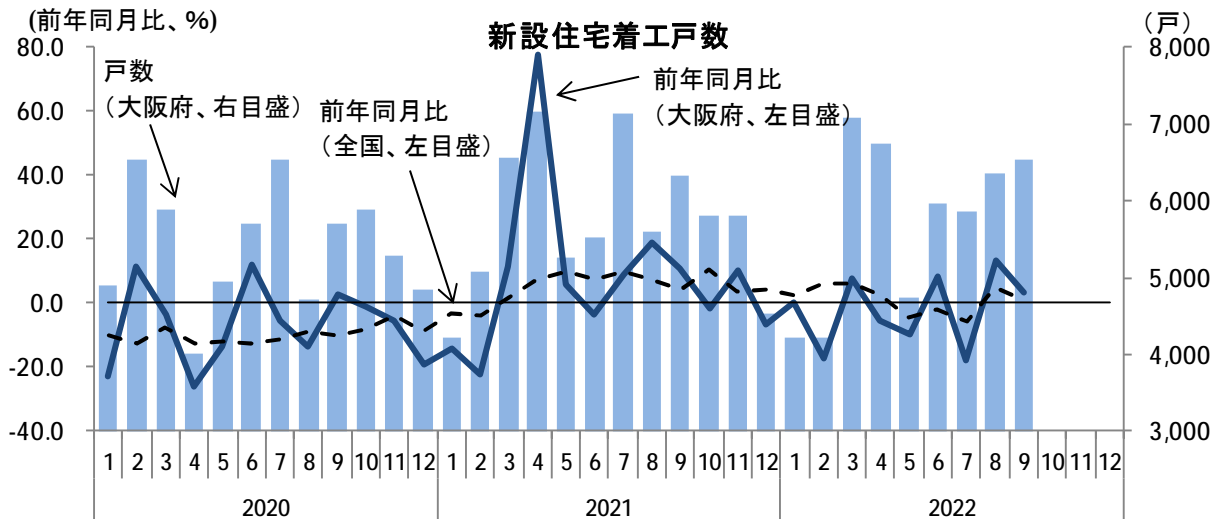
(大阪府、前年同月比(%))、9月)

普通車	小型車	軽自動車
20.7	11.3	22.4

[需要] 投資

投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】

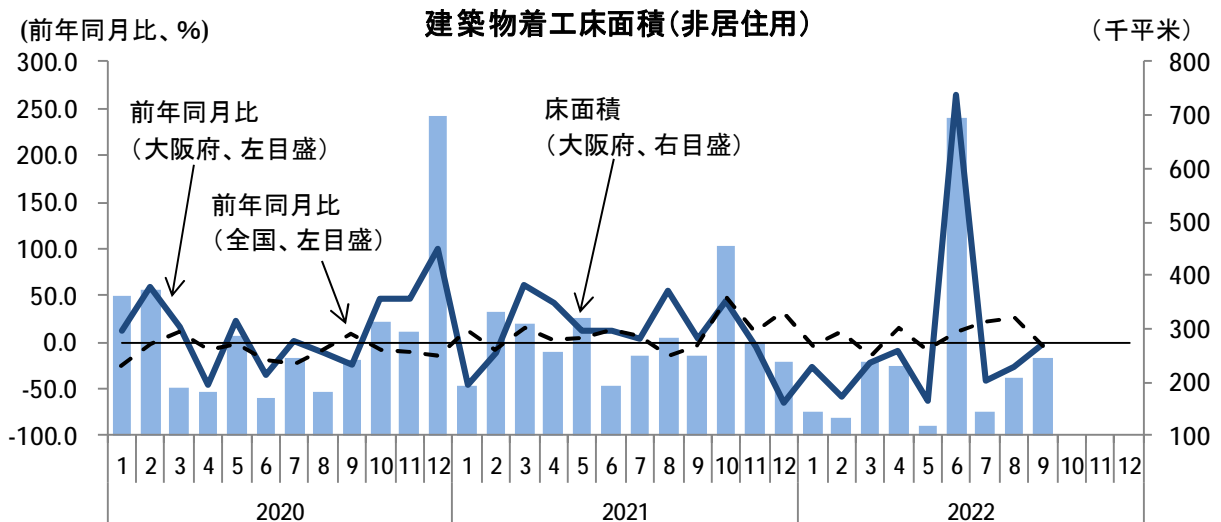


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		22年7月	8月	9月
戸数	大阪府	5,849	6,365	6,539
前年比 (%)	大阪府	▲18.0	13.6	3.5
	全国	▲5.4	4.6	1.0

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%), 9月)		
持家	貸家	分譲
▲15.3	12.6	▲2.0

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で3ヶ月連続の減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

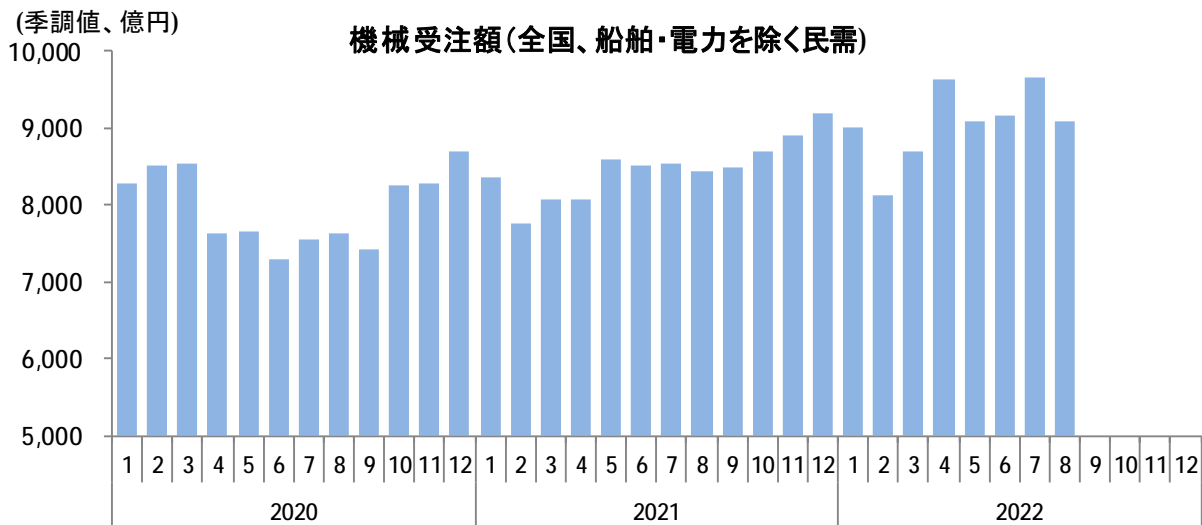
		22年7月	8月	9月
千 m ²	大阪府	145	210	246
前年比 (%)	大阪府	▲41.8	▲25.6	▲1.9
	全国	22.0	27.0	▲3.1

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%), 9月)	
増加	運輸業(38.9)
減少	医療・福祉(▲31.4)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

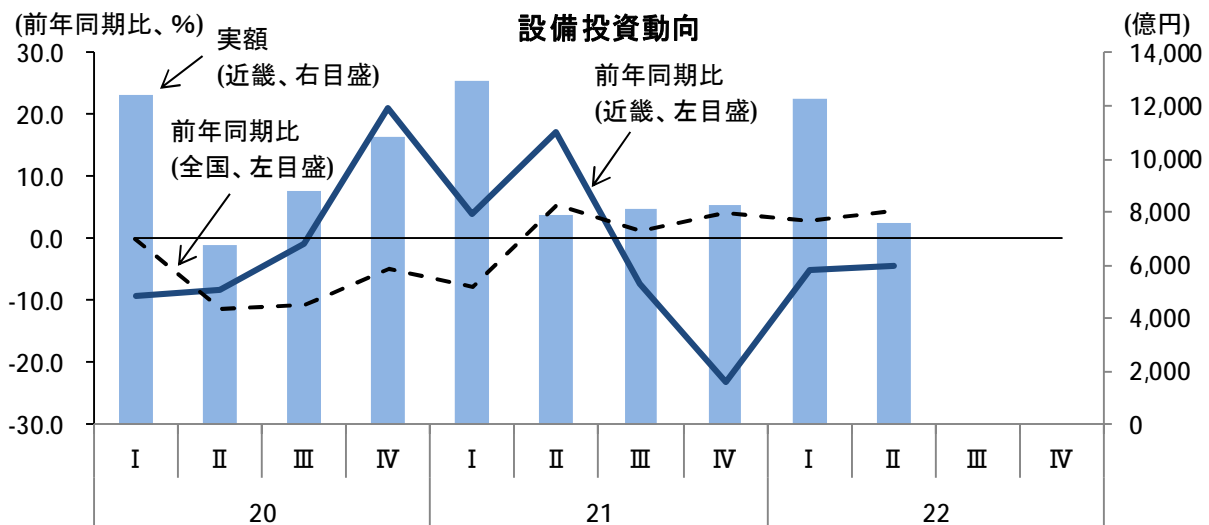
○機械受注額【8月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	22年7月	8月	9月
全国(億円)	9,660	9,098	

○設備投資動向【4~6月期(近畿)は前年同期比で4期連続の減少。「製造業」は増加、「非製造業」は減少。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		21年10~12月	22年1~3月	4~6月
億円	近畿	8,298	12,278	7,557
前年同期比(%)	近畿	▲23.1	▲5.0	▲4.3
	全国	4.3	3.0	4.6

○公共工事請負金額【2ヶ月連続の増加。】

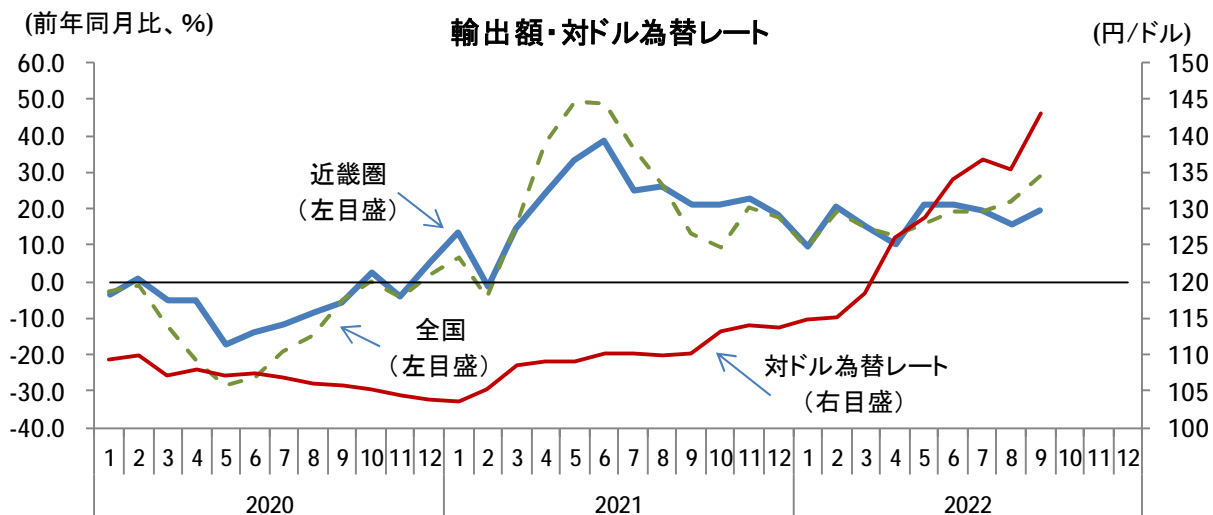
		22年7月	8月	9月
億円	大阪府	352	423	516
前年比(%)	大阪府	▲0.3	21.3	16.4
	全国	▲7.0	▲0.1	2.4

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【19ヶ月連続の増加。「鉱物性燃料」、「建設用・鉱山用機械」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】

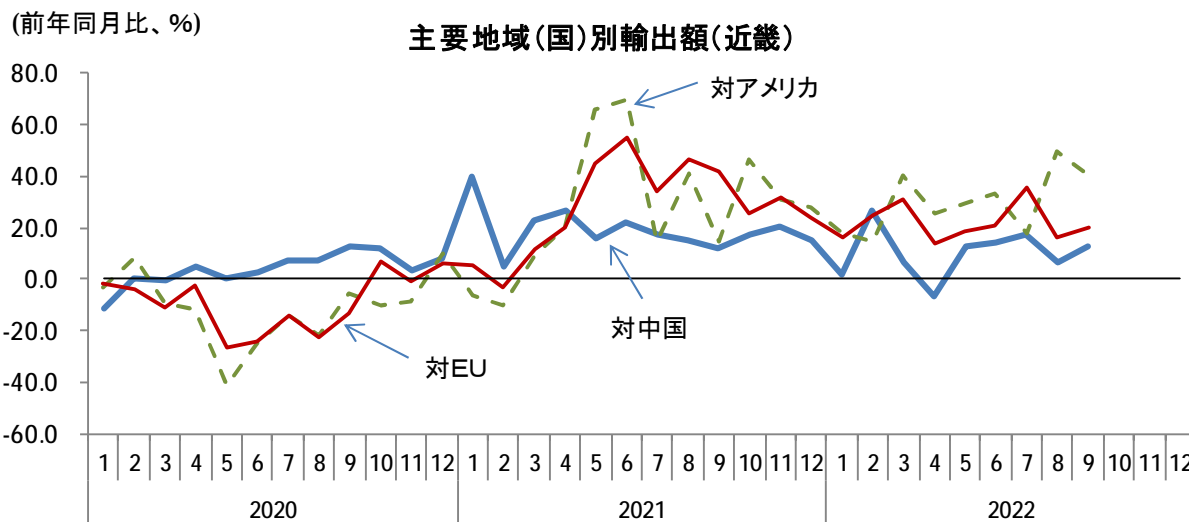


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		22年7月	8月	9月
輸出額(億円)	近畿	18,571	17,593	P 19,305
前年比 (%)	近畿	19.5	15.7	P 19.5
	全国	19.0	22.0	P 28.9
為替レート(円/ドル)		136.63	135.24	143.14

品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、9月)	
増加	鉱物性燃料、建設用・鉱山用機械
減少	科学光学機器、音響・映像機器部分品



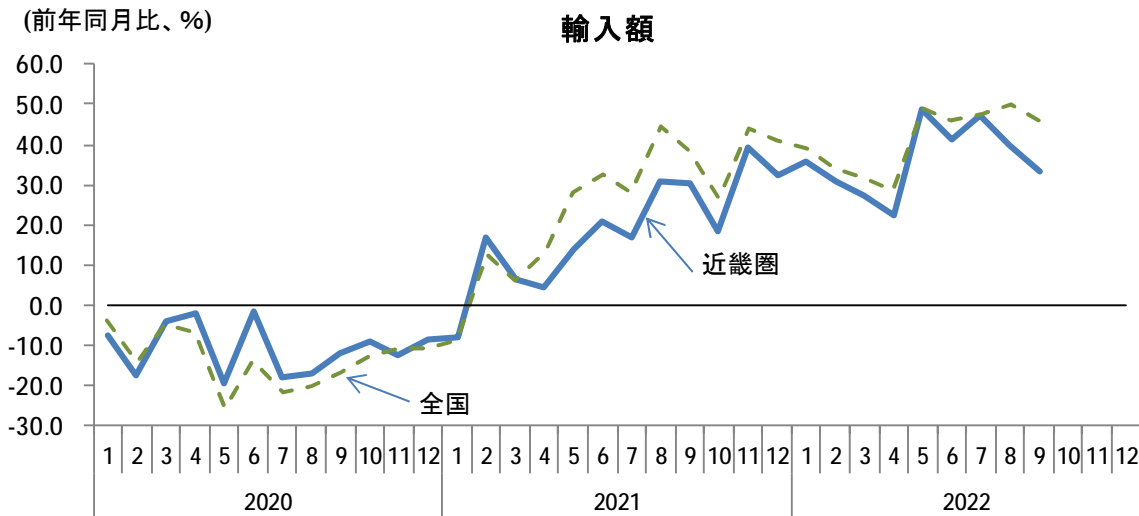
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、9月)

アジア(含む中国)	12.6	22ヶ月連続の増加
中国	12.9	5ヶ月連続の増加
ASEAN	27.4	19ヶ月連続の増加
EU	20.4	19ヶ月連続の増加
アメリカ	40.4	19ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【20ヶ月連続の増加。「原油及び粗油」、「石炭」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		22年7月	8月	9月
輸入額(億円)	近畿	18,935	P 18,280	P 18,561
前年比 (%)	近畿	47.1	P 39.8	P 33.3
	全国	47.4	P 49.9	P 45.9

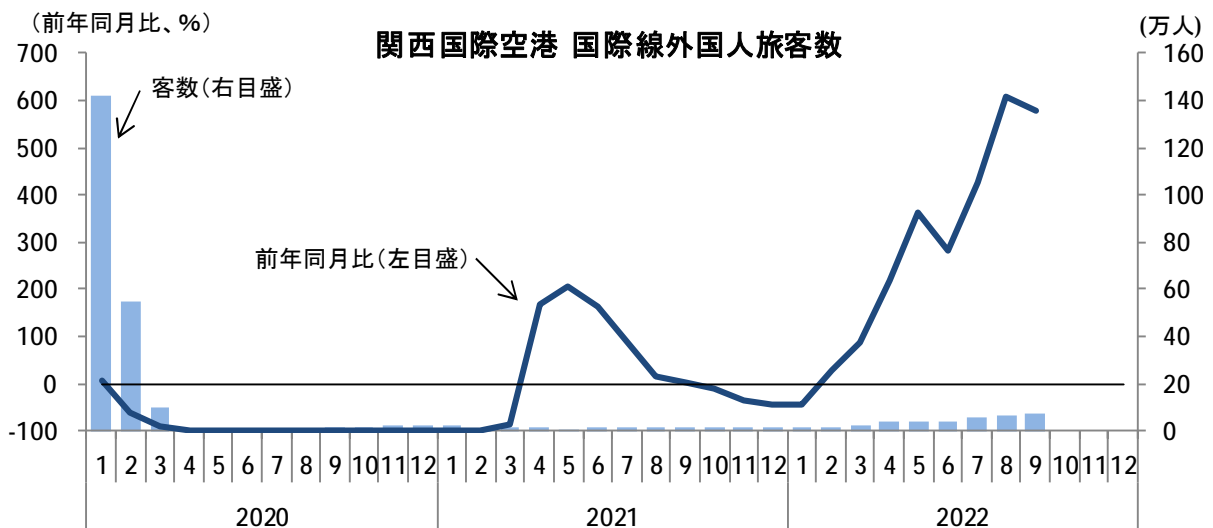
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、9月)

増加	原油及び粗油、石炭
減少	通信機、たばこ

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、9月

アジア(含む中国)	28.1	20ヶ月連続の増加
中国	17.4	5ヶ月連続の増加
ASEAN	61.5	20ヶ月連続の増加
EU	▲14.1	2ヶ月連続の減少
アメリカ	33.8	5ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で8ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

	22年7月	8月	9月
万人	5.6	P 6.8	P 7.1
前年比 (%)	426.2	P 609.4	P 578.5

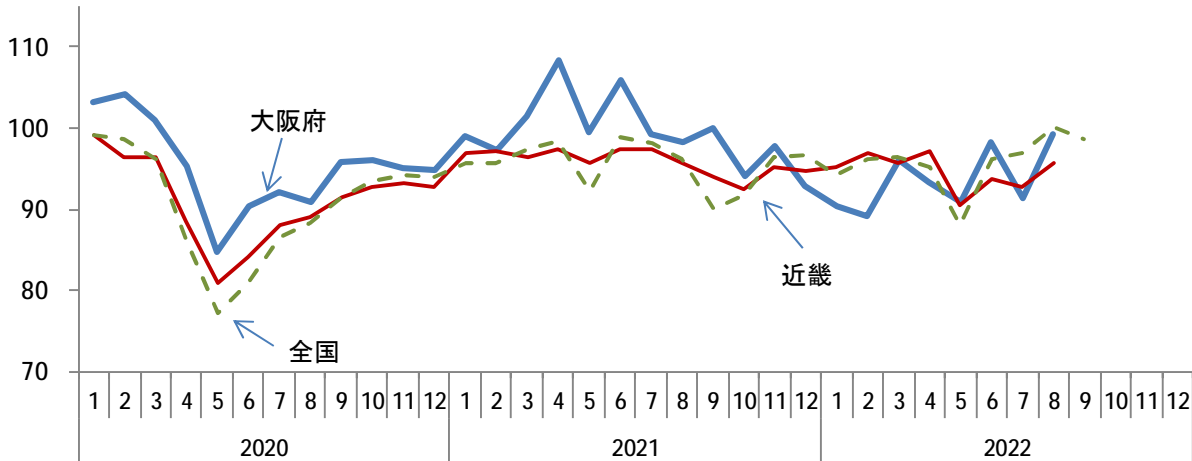
[供給] 生産・企業活動

生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(8月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(8月)は上昇。全国の生産(9月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。

○鉱工業生産指数【大阪府(8月)は2ヶ月ぶりの上昇。「化学工業」、「生産用機械工業」などが上昇。近畿(8月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(9月、鉱工業)は4ヶ月ぶりの低下。】

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	22年7月	8月	9月
大阪府	91.4	P 99.3	
近畿	92.8	95.8	
全国	96.9	100.2	P 98.6

鉱工業出荷指数

季調済	22年7月	8月	9月
大阪府	90.7	P 94.6	
近畿	91.4	93.9	
全国	94.8	97.5	P 95.2

生産指数における産業別の主な変動
 (大阪府、前月比(%))、寄与度順、8月速報

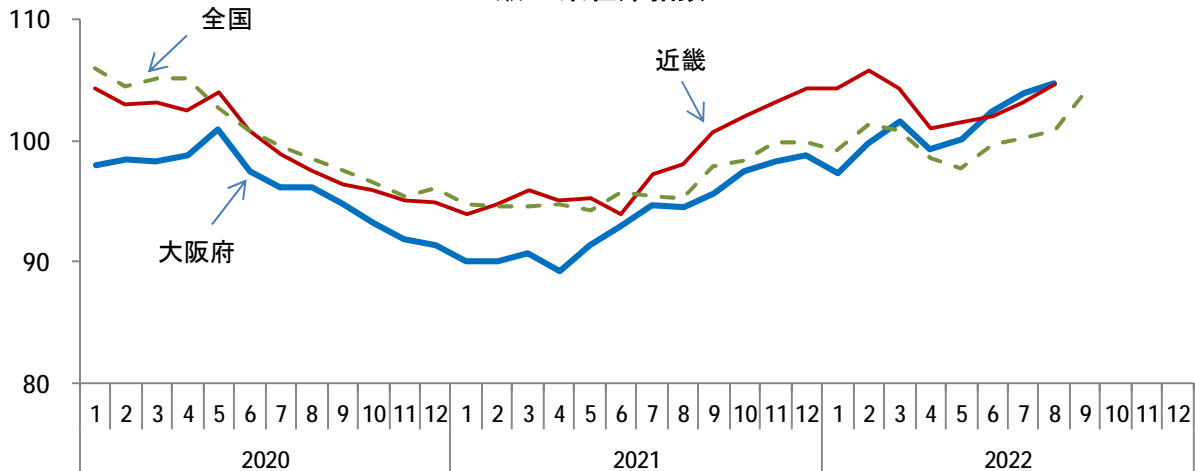
上昇	化学工業(26.9):医薬品、合成アセトン
	生産用機械工業(18.5):超硬工具、シヨベル系掘削機械
低下	汎用・業務用機械工業(5.6):汎用内燃機関、ポンプ
	金属製品工業(▲6.2):飲料用アルミニウム缶、産業用アルミニウム製品
	窯業・土石製品工業(▲13.4):無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	輸送機械工業(▲2.3):小型乗用車、シャシー・車体部品

[供給] 生産・企業活動

○**鉱工業在庫指数【大阪府(8月)は4ヶ月連続の上昇。「電気・情報通信機械工業」、「汎用・業務用機械工業」などが上昇。近畿(8月)は4ヶ月連続の上昇。全国(9月)は4ヶ月連続の上昇。】**

(季節調整済)

鉱工業在庫指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

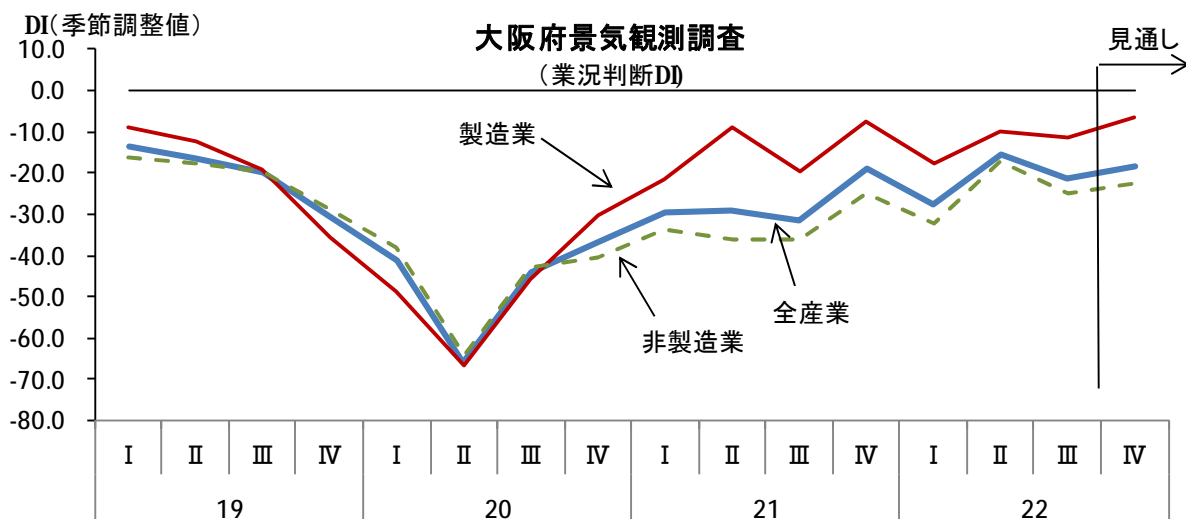
鉱工業在庫指数

季調済	22年7月	8月	9月
大阪府	103.9	P 104.7	
近畿	103.2	104.6	
全国	100.2	100.9	P 103.9

在庫指数における産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%), 寄与度順, 8月速報)

上昇	電気・情報通信機械工業(6.2): 乾電池、LED 器具 (除、自動車用)
	汎用・業務用機械工業(4.9): 汎用内燃機関、冷凍・冷蔵ユニット(除、輸送機械用)
低下	金属製品工業(▲7.1): 産業用アルミニウム製品、飲料用アルミニウム缶
	化学工業(▲3.1): 合成アセトン、ポリビニルアルコール

○**企業の業況判断【7～9月期(全産業)は2期ぶりの悪化。】**

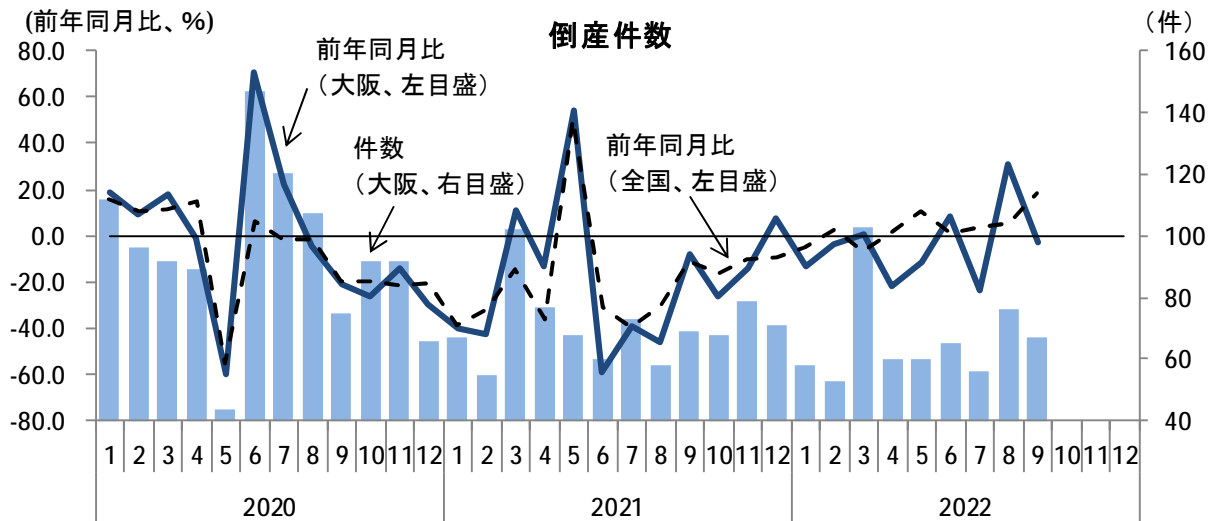


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	22年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月 (見込み)
製造業	▲17.9	▲10.2	▲11.2	▲6.7
非製造業	▲32.4	▲17.1	▲24.9	▲22.4
全産業	▲27.8	▲15.8	▲21.3	▲18.3

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で2ヶ月ぶりの減少(改善)、負債金額は前年同月比で2ヶ月ぶりの減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		22年7月	8月	9月
件	大阪府	56	76	67
前年比 (%)	大阪府	▲23.2	31.0	▲2.8
	全国	3.7	5.5	18.6

負債金額

		22年7月	8月	9月
億円	大阪府	41	175	106
前年比 (%)	大阪府	▲46.1	79.9	▲40.4
	全国	18.3	22.4	59.4

主要業種の倒産件数(大阪府)

	22年7月	8月	9月
建設業	7	16	15
製造業	6	5	3
卸売業	10	15	10
小売業	3	5	7
サービス業他	17	23	28

主な倒産(大阪府、9月)

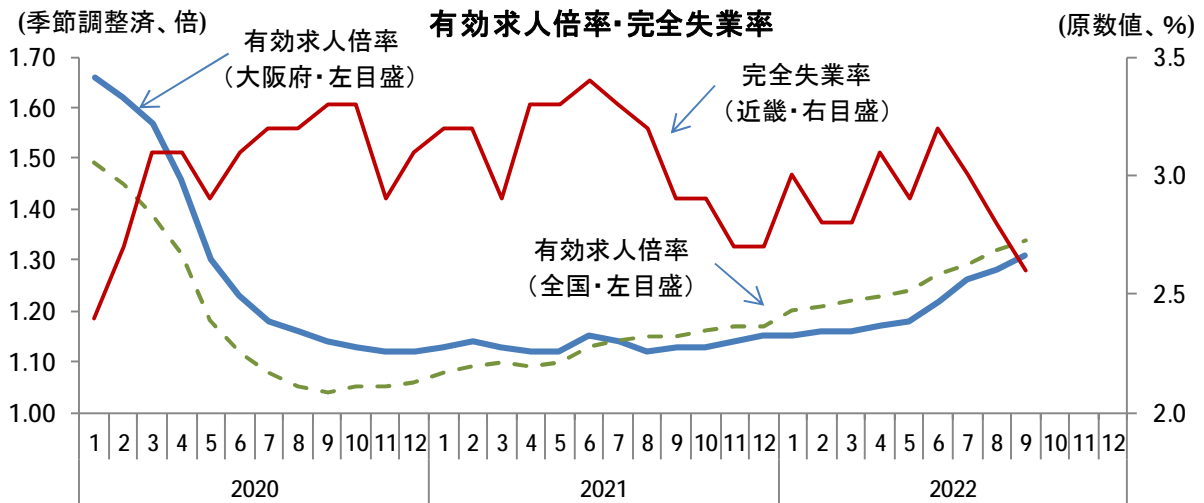
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
建装材・化粧紙卸	3,400	放漫経営
パチンコホール運営、不動産賃貸	2,250	販売不振
一般貨物自動車運送業	1,176	既往のシワ寄せ
美容サロン経営ほか	670	販売不振

[供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間(8月)は上昇。

○完全失業率【近畿は前年比で13ヶ月連続の改善】

有効求人倍率【大阪は6ヶ月連続の上昇】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月ぶりの上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	22年7月	8月	9月
%	3.0	2.8	2.6
前年同月差	▲0.3	▲0.4	▲0.3

完全失業率(全国、季節調整値)

	22年7月	8月	9月
%	2.6	2.5	2.6
前月差	0.0	▲0.1	0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	21年10~12月	22年1~3月	4~6月
大阪府	2.9	2.9	3.6
近畿	2.8	2.8	3.1
全国	2.6	2.7	2.7

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	22年7月	8月	9月
大阪府	1.26	1.28	1.31
全国	1.29	1.32	1.34

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	22年7月	8月	9月
大阪府	2.64	2.45	2.50
全国	2.40	2.32	2.27

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

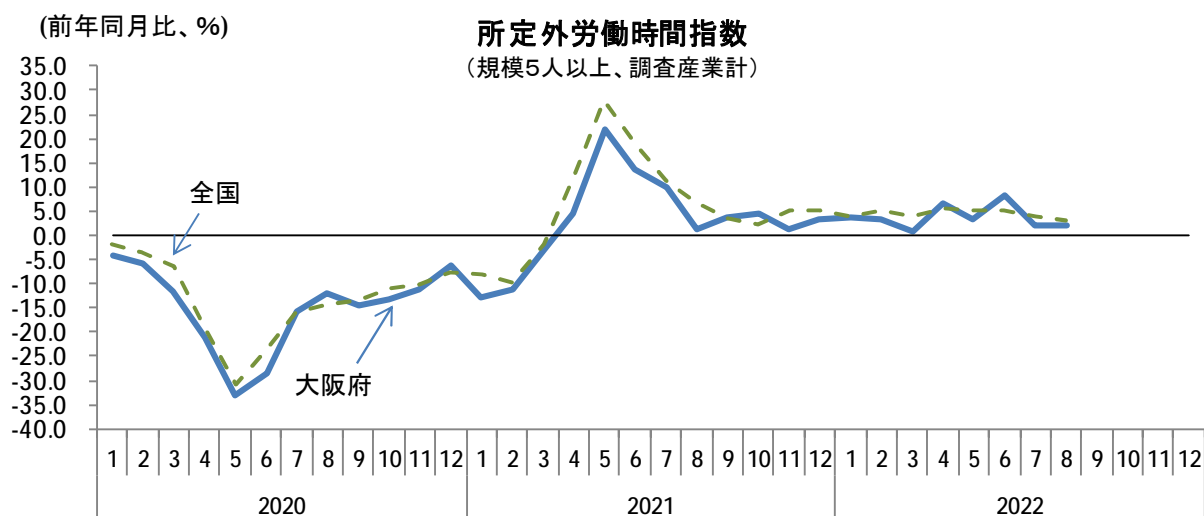
	22年7月	8月	9月
産業計	13.0	10.8	8.2
建設業	3.7	3.8	▲2.2
製造業	15.0	16.0	14.4
卸売業、小売業	2.7	20.3	22.6
宿泊業、 飲食サービス業	57.2	12.1	22.9
医療、福祉	6.6	3.1	3.4

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

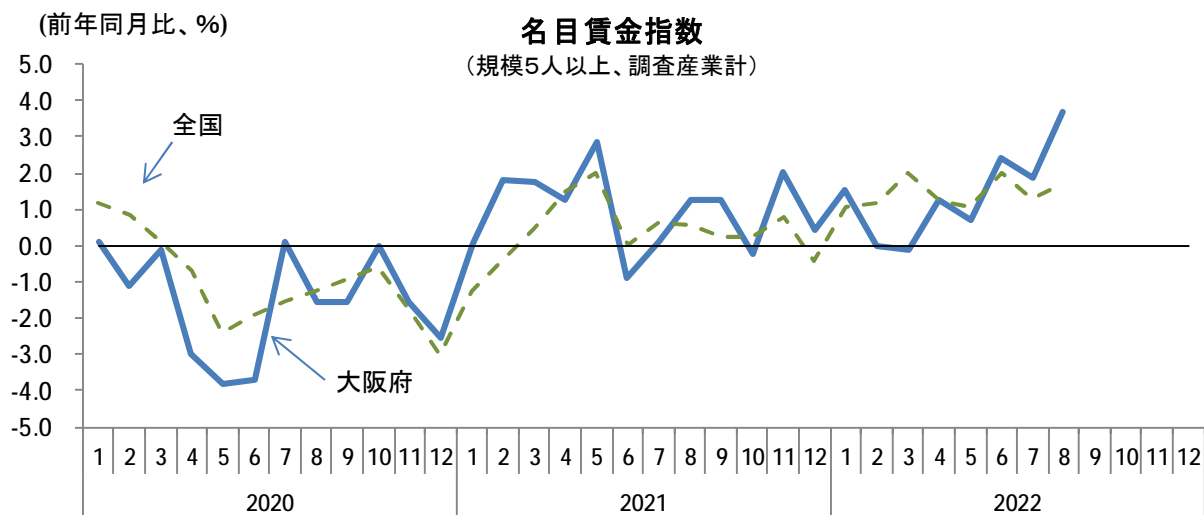
○所定外労働時間指数【大阪府(8月)は17ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		22年7月	8月	9月
指数	大阪府	107.1	98.8	
前年比 (%)	大阪府	2.0	2.2	
	全国	3.9	3.1	

○名目賃金指数【大阪府(8月)は前年同月比で5ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

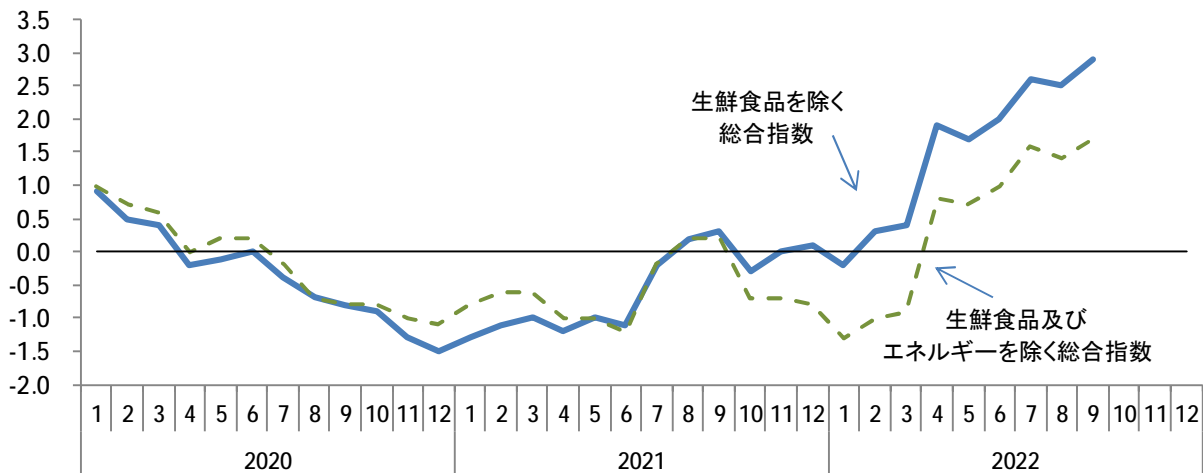
		22年7月	8月	9月
現金給与総額(円)	大阪府	409,288	287,237	
前年比 (%)	大阪府	1.9	3.7	
	全国	1.3	1.7	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 8 ヶ月連続の上昇。「食料」「光熱・水道」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 6 ヶ月連続の上昇。】

(前年同月比、%)

消費者物価指数(大阪市)



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

総合指数

		22年7月	8月	9月
指数	大阪市	102.0	102.0	P 102.4
前年比 (%)	大阪市	2.8	2.7	P 2.9
	全国	2.6	3.0	3.0

生鮮食品を除く総合指数

		22年7月	8月	9月
指数	大阪市	101.9	101.8	P 102.1
前年比 (%)	大阪市	2.6	2.5	P 2.9
	全国	2.4	2.8	3.0

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

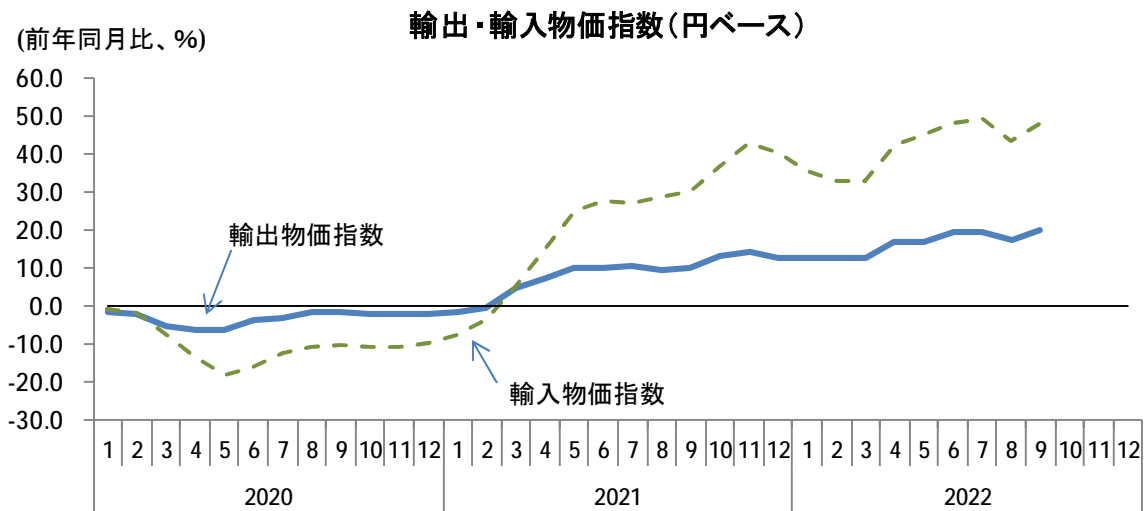
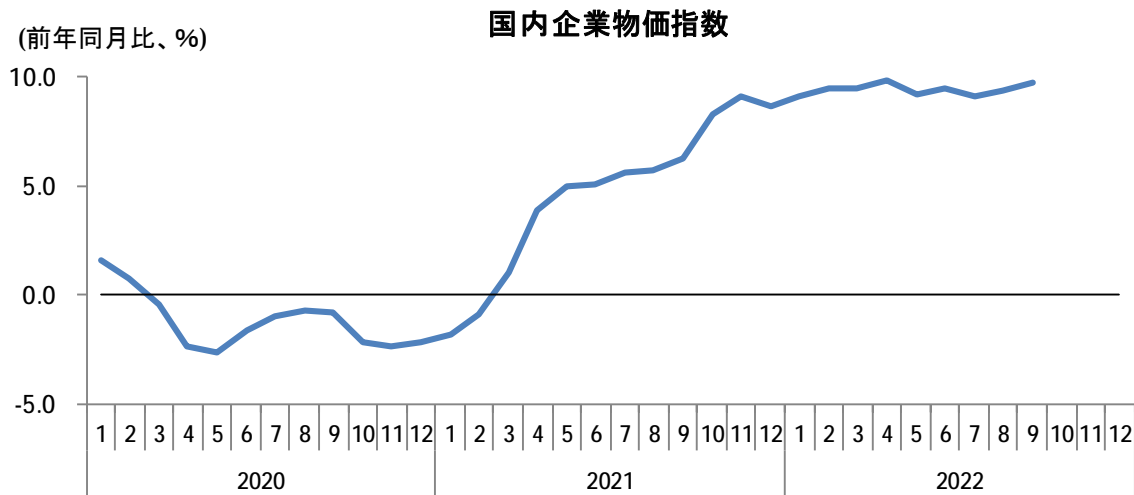
		22年7月	8月	9月
指数	大阪市	100.8	100.6	P 100.8
前年比 (%)	大阪市	1.6	1.4	P 1.7
	全国	1.2	1.6	1.6

総合指数において主に変動した分類
(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、9月速報)

上昇	食料(5.1):魚介類(あじ、あさり、塩さけ)、穀類(スパゲッティ、あんパン、中華麺)
	光熱・水道(6.3):ガス代(都市ガス代、プロパンガス)、他の光熱(灯油)
	家具・家事用品(10.3):家庭用耐久財(ルームエアコン、空気清浄機、食器戸棚)、寝具類(布団、敷布、敷きパッド)
低下	交通・通信(▲0.3):通信(通信料(携帯電話))

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は2020年=100。

企業物価指数

	22年7月	8月	9月
国内企業物価指数	115.0	115.5	P 116.3
輸出物価指数	131.0	128.2	P 131.9
輸入物価指数	183.1	179.6	P 188.1

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2020年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(9月速報、寄与度(%))

上昇	電力・都市ガス・水道 (0.37) : 事業用電力、都市ガス
	スクラップ類 (0.08) : 鉄屑、銅・アルミニウム屑
低下	木材・木製品 (▲0.04) : 住宅建築用木製組立材料、集成材、ひき角